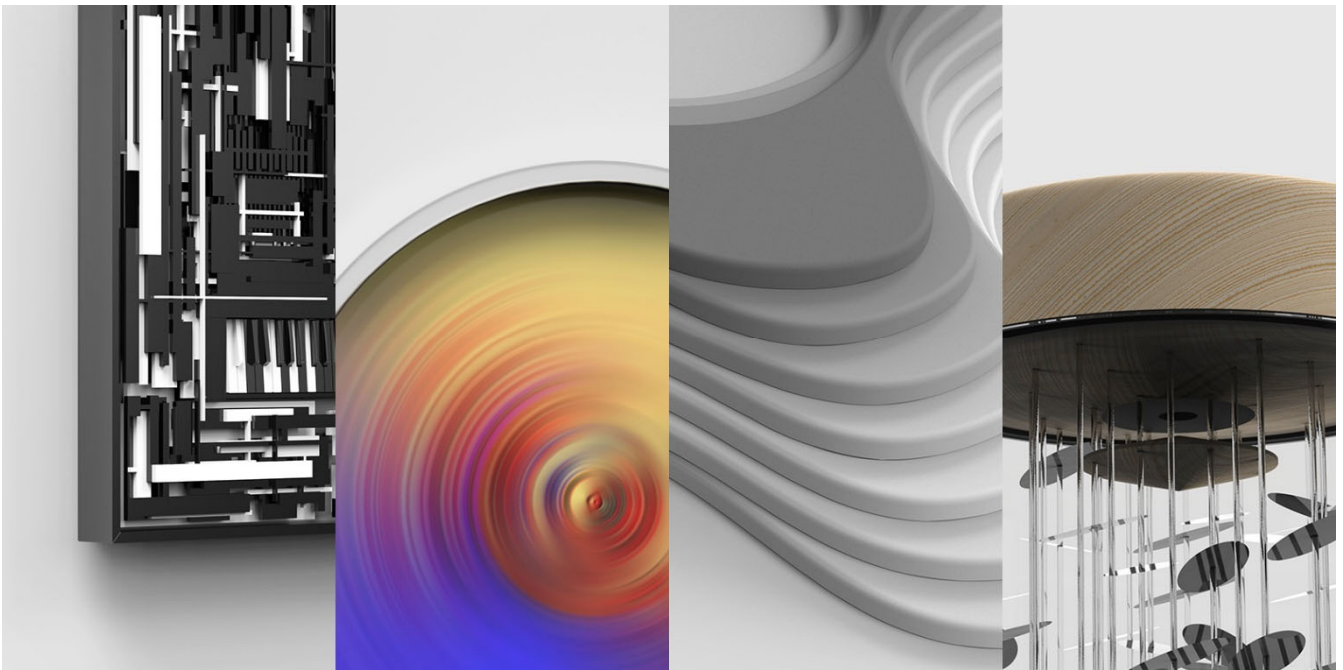


2019年2月19日

11年ぶり5度目の出展

“pulse”（パルス）をキーワードに「心の躍動」に迫る4作品を展示
世界最大規模のデザインイベント
「ミラノデザインウィーク 2019」に出展

ヤマハ株式会社は、世界最大規模のデザインイベント「ミラノデザインウィーク 2019」に出展します。“pulse”（パルス）をキーワードに、音に関連した4作品を展示し、複雑な心と体の状態の中にある心地良さを提示します。

**【pulse】**

五感を刺激しインスピレーションを与える空間や、それを構成する音・プロダクト・オブジェクトなどを通じて、あなたの“pulse”に問いかける、なんとも言えない心地良さを感じてください。

●11年ぶりとなる出展

これまで、ヤマハデザイン研究所は2005年から2008年までの4年間、ヤマハの世界観を表現した作品をミラノサローネにおいて発表してきました。世界中から訪れる人々の反応を肌で感じることで、デザイン哲学を深め、ヤマハデザインのアイデンティティをより確かなものにしてきました。11年ぶりの参加となった今回も、大真面目に且つ遊びの精神を持って、ヤマハの世界観を表現する4つの作品を展示します。

●“pulse”をキーワードに「心の躍動」に迫る

着目したのは、鼓動、脈動、情動を表す“pulse”という言葉です。ヤマハはこれまで、楽器をはじめとしたさまざまなデザインを通じて、ユーザーの“pulse”にアプローチしてきました。そしてそれは、「プレーヤーとオーディエンスという異なる視点」「練習を要する難しさと楽しさ」「無我夢中になるほどの楽器との一体感」といった

ような、矛盾と複雑さをもった豊かさだと言えます。

今回の展示では、人々の“pulse”への働きかけをより洗練することで、独特の没入感を持つ体験を提案する4つの作品を展示します。喜怒哀楽といった言葉で簡単に言い表すことのできない、複雑な心と体の状態の中にある心地よさを提示し、「心の躍動」に迫ります。

<ヤマハ デザイン研究所 所長 川田学のコメント>

多種多様なプロダクトが急速度で生まれては消えていく現代。さまざまな取り組みも体験さえも情報として消費され忘れ去られていく現代。それはクリエイティブの価値が再び問われ始めている時代と言えます。

今回は、人間の持つ複雑な感覚、高揚感と安心感、開放感と没入感が入り混じった心からの満足感や充足感のようなものについて考察を深め、“pulse”という言葉に着目しました。それは「気持ちの昂ぶりと身体的休息」「精神的な静寂と体の緊張感」など名状しがたい感覚の中に潜む「心の躍動」という意味を持ちます。未だ荒削りの実験ですが、今回の展示には皆様の“pulse”に問いかけ、響き合う「何か」がきっと宿っているものと信じます。

<出展概要>

タイトル	pulse
会期	4月9日(火)～14日(日)、10時～20時(現地時間) ※4月14日(日)のみ18時まで。 ※4月8日(月)はプレスプレビュー(15時～19時)。
会場	イタリア・ミラノ (Ventura Centrale*, Via Ferrante Aporti 25, 20125 Milano, Italy)
展示面積	28.52m × 11.99m (約342㎡)

※「Ventura Project」が手がける展示エリア。ミラン中央駅高架下にある複数のトンネル型倉庫を活用したユニークな展示スペースが特徴の一つ。詳細についてはこちらをご覧ください。<http://www.venturaprojects.com/>

<ヤマハデザイン 「ミラノデザインウィーク 2019」特設サイト&関連SNS>

・特設サイト

日本語：https://www.yamaha.com/ja/about/design/events_topics/pulse_2019/

英語：https://www.yamaha.com/en/about/design/events_topics/pulse_2019/

※展示物詳細、プレスキットなど、順次更新予定。

・Facebook(日本語・英語)

<https://www.facebook.com/yamaha.design.weaves/>

・Instagram(日本語・英語)

<https://www.instagram.com/yamaha.design.weaves/>

*文中の商品名、社名等は当社や各社の商標または登録商標です。

●本件に関するお問い合わせ先(報道機関の方)

ヤマハ株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 担当:新川(あらかわ) TEL:03-5488-6601